

キルギス民族楽器アンサンブル



オールドサフナ コンサート & レクチャー

2017年11月21日 (火) 午後6時～8時

東京藝術大学 音楽学部 第2ホールにて
学内者のみ参加可能 入場無料

オールドサフナ ОРДО САХНА

キルギスを代表する実力派民族楽器ユニット。「オールドサフナ」は「ハン(汗)の舞台」の意。演出家ジャパロフ シャミル Жапаров Шамильにより1999年に結成された。民族音楽の保持、発展、普及活動の傍ら、ソ連時代に録音された古い曲の復元や研究にも力を注いでいる。



今回はキルギス・日本外交関係樹立25周年記念行事の一環として、在日キルギス大使館の招聘により来日。2005年愛知万博公演・川崎公演以来、2度目の日本公演となる。

〈来日メンバー〉

ジュティゲン ウール アスカット Жетиген уулу Аскаат(ヴォーカル、コムズ、テミル コムズ)
ソヴェット ウール テミルラン Совет уулу Темирлан(チョール、チョゴイノ チョール)
オムルガズ ウール ジュルガルベック Өмүргазы уулу Жыргалбек(コムズ、テミル コムズ)
バルマンバエフ エルラン Барманбаев Эрлан(スプズグ、チョボ チョール)
アティロフ アイナザル Атилов Айназар(クル クヤック、テミル コムズ)

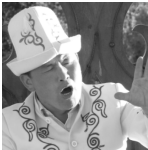
マンベタリエワ ティナティン Мамбеталиева Тинатин(バス クヤック、テミル コムズ)
アイダラリエフ アカイ Айдаралиев Акай(ドブルバス)
サグノワ グルザイル Сагынова Гулзаир(ヴォーカル、コムズ、ジガチ オーズ コムズ)
ジャパロワ チョルボン Джапарова Чолпон(ディレクター)

ソリスト



ルスクロワ グルザダ Рыскулова Гулзада

伝統とオルタナティブの融合、自然との調和を探求し、古代、民族、現代、ロック、民俗等の音楽を結びつける、ジャンルを超えたミュージシャン。その歌声は、精神性、平和、調和、祖国の英雄、自然の力を語る。オシュ州教育学院卒業。コムズ、口琴などの楽器も演奏。



ママダリエフ カミル Мамадалиев Камил

マナスチ(英雄叙事詩マナスの語り手)。
1981年タラス州生れ。1999年タラス国立大学文学部に入学、大学に在籍しながら児童センターの教員になる。2011年から現在に至るまで「マナス・オールド」学校で「マナスを知ろう」という内容の授業の教員をつとめる。
1993年から現在に至るまで、コンクールやフェスティバルでの受賞多数。

総合監督



イレシュ グルジャン Иреш Гулжан

画家。1970年ジャララバード州生れ。キルギス国立工芸大学経済学部を卒業後、同大学附属民族衣装美術館に勤務。オールドサフナの舞台衣装として民族衣装を作り始める。「ハントウン」民族衣装コレクションで様々な賞を受賞。
今回のオールドサフナ来日公演の総監督を務める。